

登録団体概要書

(2026年2月作成)

(ふりがな) 団 体 名	とくていひえいりかつどうほうじん おやのそだちさぼーとかがわ 特定非営利活動法人 親の育ちサポートかがわ		
代表者職・氏名	理事長・鈴木 裕美		
主たる事務所の 所 在 地	〒760-0047 香川県高松市塩屋町2番地5ロイヤルガーデン片原町駅南 1305		
連 絡 先 等	電 話	087-891-2465	F A X
	e - mail	oyasapo_kagawa@yahoo.co.jp	
	ホームページ	https://www.oyanosodachi-support.com/	
法人設立年月	2017年 4月	正会員数	16人
活 動 目 的 (定款に記載された目的)	この法人は、保護者及び子どもの養育に関わる全ての人々に対して、子育てにかかわる様々なプログラムを提供し、豊かな家庭環境を整える支援を実施することで児童虐待を予防し、子どもの健やかな発達に寄与することを目的とする。		
主たる活動分野	保健・医療または福祉の増進を図る活動、社会教育の推進を図る活動、子どもの健全育成を図る活動		
活 動 状 況	主な活動	トリプル P：前向き子育てプログラムやオンラインによる子育てセミナー、不登校児を育てる親の会、不登校家庭への大学生派遣、生きづらさを抱える子ども（ユニパスさん）とそれを支える団体をつなげる活動（ユニパスバンク）、子育て相談、子育て関連のリーフレット、冊子発行、情報発信	
	活動地域	香川県を主としているが、オンライン事業や HP を通した啓蒙事業は全国を対象とする	
	活動頻度	トリプル P は年に 2 回、他は月に 1 回程度	
	過去の事業実績	毎年トリプル P 2 回開催、オンラインセミナー6 回開催に加え、 2023 年度：「ユニパスバンク～不登校編～」4,000 部発行 2024 年度：子育てカレンダー1,500 部発行、「ハイスクールプロジェクト改訂版 2025」HP に PDF 版で公表、親の会 6 回開催 2025 年度：子育てカレンダー1,500 部発行、一日体験トリプル P 開催、親の会 10 回開催、ユニパスイベント(130 人集客)開催	
今後の活動方針	トリプル P の普及を県内各地へ広げるとともに、ユニパスバンクを推進する。支援団体・教育機関・医療福祉機関・企業等をつなぎ、親支援と並行して、ユニパスさんに情報や体験機会を届け、先輩との出会いを通して安心と希望を育む地域基盤を構築する。		
県民への P R	子どもや親が一人で悩まない地域を目指し、トリプル P による親支援を県内各地で広げています。さらにユニパスバンクを通して、支援団体や企業とつながり、生きづらさを抱える子どもたちに情報や体験の機会を届けます。先輩との出会いから、安心と希望が生まれる場をつくります。		

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(2026年2月作成)

団体名 特定非営利活動法人 親の育ちサポートかがわ

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
<p>広く県民を対象とするNPO活動を行っていること</p>	<p>【活動の対象】香川県の保護者、子育てに関わっている祖父母、教育関係者、子育て支援業務を実施している行政関係者、民間団体および個人など幅広く対象としています。</p> <p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者や子育て支援者、教育関係者を対象とした子育てに関する講演 ② 子育てプログラム（トリプルP：8週間の連続講座）の実施 ③ オンラインを用いた子育てセミナーおよび保護者交流会 ④ 当NPOのHPにて「Dr.ひろみの子育てかるた」等の情報発信 ⑤ 不登校児のための進学情報冊子「ハイスクールプロジェクト」や居場所・医療・学び方に関する情報冊子「ユニパスバンク～不登校編～」等を発行、無料配布 ⑥ 生きづらさを抱える子ども（ユニパスさん）に関する講演・シンポジウムの開催 ⑦ 関連機関・企業等と連携したユニパスバンク事業（体験機会の提供、交流の場の創出）
<p>より公益性の高いNPO活動を行っていること</p>	<p>当法人は、特定の会員や地域に限定せず、香川県全域の保護者、子育て支援者、教育・医療・福祉関係者、行政機関等を対象に活動しています。トリプルPの普及や講演活動、オンライン事業、情報発信を通じて広く子育て家庭を支援するとともに、ユニパスバンク事業により、生きづらさを抱える子どもと地域の支援資源をつなぐ仕組みづくりを行っています。関係機関や企業とも連携し、地域全体で子どもを支える基盤整備に取り組んでいます。</p>
<p>活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること</p>	<p>当法人は設立以来、トリプルPの継続実施や講演活動、オンライン事業、情報発信を途切れることなく行ってきました。近年はユニパスバンク事業を立ち上げ、調査研究、シンポジウム開催、多機関連携による支援ネットワーク構築へと発展させています。親支援と子ども支援を統合した実践モデルとして県内外から関心を寄せられており、他地域にも展開可能な仕組みづくりを進めています。</p>

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。